

北見工業大学後援会「KIT げんき会」総会

日 時：平成28年6月27日（月）
14：30～

場 所：北見工業大学 多目的講義室

議 事 次 第

1. 開会

2. 挨拶

(1) 北見工業大学後援会「KIT げんき会」会長

(2) 北見工業大学長

(3) 北見市長

3. 議事

(1) 役員の一部改選について

(2) 平成27年度事業報告、決算報告について

(3) 平成28年度事業計画（案）、収支予算（案）について

(4) その他

4. 閉会

北見工業大学後援会「KITげんき会」
平成28年度役員名簿（案）

- 顧問 辻 直 孝（北見市長）
" 高 橋 信 夫（北見工業大学学長）
- 会 長 永 田 正 記（オホーツク商工会議所協議会会長・北見商工会議所会頭）
- 副会長 越 膳 良 臣（北見工業大学同窓会顧問）
" 倉 本 登（北見鉄工協同組合理事長）
" 西 川 孝 範（きたみらい農業協同組合代表理事組合長）
" 古 屋 聖 兒（北見医師会会長）
" 戸 田 龍 一（北見商工会議所中小企業委員会委員長）
- 常務理事 吉 田 孝（北見工業大学理事・副学長）
- 理 事 太 布 康 洋（北見信用金庫理事長）
" 大 野 浩（北見ぼらんち会会長）
" 石 澤 徳 司（北見地区電気工事業協同組合理事長）
" 山 田 剛（北見歯科医師団団長）
" 久 島 和 俊（北見建設業協会会長）
" 小 泉 勝 裕（北見管工事事業協同組合代表理事）
" 山 田 義 久（協同組合日専連北見代表理事）
" 河 合 昭 徳（日本自動車販売協会連合会北見支部支部長）
" 辻 好 治（北見観光協会会長）
" 佐々木 一 明（協同組合北見総合卸センター理事長）
" 佐々木 敏 行（北見舗装協会会長）
" 石 川 裕 也（北見金融協会会長）
" 清 水 大（北見薬剤師会会長）
" 橘 邦 彦（北見工業大学同窓会顧問）
" 富 山 佳 男（北見測量設計協会会長）
" 永 田 裕 一（北見物産協会会長）
" 西 川 治 彦（北海道獣医師会オホーツク支部支部長）
" 海 田 有 一（北海道中小企業家同友会オホーツク支部支部長、
北見工業団地会会長）
" 真 柳 正 裕（北見市商店街振興組合連合会理事長）
- 監 事 小 澤 實之郎（北見商工会議所監事）
" 富 田 剛 夫（北見工業大学同窓会北見支部支部長）

（順不同：敬称略）

北見工業大学後援会 KITげんき会

平成27年度 事業報告書

目 次

1 学生に対する支援

(1) 語学研修プログラムへの参加旅費の助成

オーストラリア 1

中国 9

ドイツ 17

(2) 短期交流研修（派遣）の助成 31

(3) 地域貢献活動、ボランティア活動等を行った学生表彰の助成 47

(4) 留学生派遣の助成 48

(5) インターナショナルCアワーの助成 50

(6) 留学生交流イベントの助成 51

(7) 図書館配架用学生向け参考図書購入の助成 53

2 大学広報等への支援

女満別空港広告看板掲出料の助成 55

3 北見ぼんちまつり参加者への助成 56

4 就職支援助成（地元合同企業説明会等） 57

平成27年度 K I Tげんき会事業実施報告書

担当課名： 研究協力課

1 実施事業名

語学研修プログラム参加旅費の助成 (オーストラリア)

2 事業概要

(1) 研修先

クイーンズランド大学

(2) 研修期間

2015年8月21日(金)～9月27日(日)

(3) 助成対象・金額

5万円

3 助成対象者報告

所属専攻・学年	バイオ環境・マテリアル系 1年
氏名	玉井 成香
報告 ※本研修により得た成果について400字程度で記入	<p>オーストラリアのブリスベンにて英語学習を行ってきました。日本での英語の成績には正直困ったことがなくオーストラリアでの生活も多少の不安はあったものの、出発前はどうか過ごせるだろうと思っていました。しかしホームステイ先や街中では、自分の思っていることを伝えようにも上手くいかないことや、想像とは違うことなどで戸惑うこともありました。また、大学では様々な国からの学生が参加していました。彼らもまた、オーストラリアの人達と違った文化や考えを持っていたので、意思疎通はジェスチャーを交えながら図るという難しいものでした。そんな中でも5週間という期間を過ごすうちに、互いが思っていることやそれぞれの文化を共有し、理解することができました。</p> <p>5週間という短い期間での研修はあっという間でした。自分</p>

	<p>の英語力は少し伸びたと思いますが、もっとより長い時間英語に触れ、異国の人と話し合い理解を深めたかったと感じています。しかし、本場での英語学習という体験は新鮮で心身ともに成長することができたよい経験だったと思います。</p>
<p>謝 辞 ※本助成を受けたこと に対するKITげんき 会会員への謝辞</p>	<p>オーストラリア語学研修への支援をしていただき、ありがとうございます。 現地での様々な経験をこれからの生活や学業に生かせるようこれからも頑張りたいと思います。</p>

平成27年度 KITげんき会事業実施報告書

担当課名： 研究協力課

1 実施事業名

語学研修プログラム参加旅費の助成 (オーストラリア)

2 事業概要

(1) 研修先

クイーンズランド大学

(2) 研修期間

2015年8月21日(金)～9月27日(日)

(3) 助成対象・金額

5万円

3 助成対象者報告

所属専攻・学年	情報電気エレクトロニクス系 1年
氏名	高島 諒也
報告 ※本研修により得た成果について400字程度で記入	<p>今回の語学研修旅行では、ホストファミリーが一番不安要素でした。しかし、私のホストファミリーは優しい上に食事もおいしかったのでものすごく幸せな日々でした。また、授業では英語だけでしたが楽しく英語の勉強ができました。それによってリスニング能力が向上しました。また授業が終わってからは、私の趣味であるタッチフットを学部生などと一緒にプレイしました。言語はもちろん英語です。</p> <p>授業では細かい所の英語圏でしか学べないような発音の授業を受けることが出来ました。ですから、発音とリスニングの勉強にもものすごくになりました。休日はゴールドコーストやノーサに行き夕食を楽しみました。オーストラリアのステーキはとてもおいしかったです。学校の休憩時間はサウジアラビア出身のクラスメイトと結婚について話していました。そこで英語の</p>

	<p>勉強に行きサウジアラビア人の友人と話すうちにサウジアラビアの文化に興味を持ちました。語学研修では世界の文化の違いを痛感しました。自分の世界観が間違いなく広がりました。</p>
<p>謝 辞 ※本助成を受けたこと に対するKITげんき 会会員への謝辞</p>	<p>この度は語学研修のために支援していただき、誠にありがとうございます。 この語学研修では日本の中では決して味わうことのできない経験をすることが出来ました。 ありがとうございました。</p>

平成27年度 K I Tげんき会事業実施報告書

担当課名： 研究協力課

1 実施事業名

語学研修プログラム参加旅費の助成 (オーストラリア)

2 事業概要

(1) 研修先

クイーンズランド大学

(2) 研修期間

2015年8月21日(金)～9月27日(日)

(3) 助成対象・金額

5万円

3 助成対象者報告

所属専攻・学年	機械・社会環境系 1年
氏名	大石 一輝
報告 ※本研修により得た成果について400字程度で記入	<p>今回の語学研修によって私は英語への関心が高まりました。私は中学時から英語は得意でなく、初めての海外に挑戦したところ言語の壁に突き当たりました。それでも交流したいと気持ちで交流をすると次第に相手の言いたいことが理解できるようになりました。またRとLのような似た発音の難しさも現地で痛感しました。日本では大きな差がなくても理解してもらえることが多く、現地でしか味わえない経験となりました。特に私はスポーツを通して現地に住んでいる人と仲良くすることが出来、今でも一部の友達と交流し続け現地の英語を学んでいます。</p> <p>5週間という長い期間の語学研修を経て日本とオーストラリアの文化や考え方の違いを学び、それぞれの良い点悪い点を違</p>

	<p>う角度から見る事が出来、人生の大きな糧にすることが出来ました。</p>
<p>謝 辞 ※本助成を受けたこと に対するKITげんき 会会員への謝辞</p>	<p>この度は語学研修のために資金援助してくださり、ありがとうございました。おかげで円滑に研修に挑むことが出来ました。</p>

平成27年度 KITげんき会事業実施報告書

担当課名： 研究協力課

1 実施事業名

語学研修プログラム参加旅費の助成 (オーストラリア)

2 事業概要

(1) 研修先

クイーンズランド大学

(2) 研修期間

2015年8月21日(金)～9月27日(日)

(3) 助成対象・金額

5万円

3 助成対象者報告

所属専攻・学年	バイオ環境化学科 3年
氏 名	平岡 雅仁
報 告 ※本研修により得た成果について400字程度で記入	私は、8月21日～9月27日の間、オーストラリアのクイーンズランド大学にて英語の語学研修をしてきました。今まで英語を見るのが嫌だったり抵抗があったのですが、この5週間の大学の授業や英語を使う日常生活を経て慣れ親しむことができ、これまで自分の中にあった英語に対するわだかまりを取り除くことができたのではないかと感じています。また、オーストラリアなど外国の人々との交流から日本を客観視することができ、日本は海外から好かれており、信用性が高いという印象を強く感じ、そのイメージをこれからも私たちが守っていかねばならないと思いました。他にも、学校の授業では、多国籍な授業風景でその国の人たちと話すことでそれぞれ異なる文化であるということが分かって、いろいろな価値観を身

	<p>に着けることができたと思います。</p>
<p>謝 辞 ※本助成を受けたこと に対するKITげんき 会会員への謝辞</p>	<p>この度は、オーストラリア語学研修のために支援していただき御礼申し上げます。自分にとって、非常に有意義な時間を過ごすことができ、将来においてもこの経験が役立つだろうと思います。ありがとうございました。</p>

平成27年度 KITげんき会事業実施報告書

担当課名： 研究協力課

1 実施事業名

語学研修プログラム参加旅費の助成（中国）

2 事業概要

(1) 研修先

ハルビン工程大学

(2) 研修期間

2015年8月26日（水）～9月19日（土）

(3) 助成対象・金額

3万円

3 助成対象者報告

所属専攻・学年	情報電気エレクトロニクス系・1年
氏名	久保沢 達也
報告 ※本研修により得た成果について400字程度で記入	私は、この研修に参加する前は、中国語で数を数えることも分かりませんでした。今回の研修に参加して、簡単なあいさつや自己紹介、日常会話などを少し話せるようになりました。しかし、中国語の四声はとても難しかったです。同じ音でも、四声を間違えると相手に伝わらないという所が大変でした。漢字も日本と少し違う漢字が多く、覚えるのが大変でした。担当の先生は、みんな優しく、授業はとても分かりやすかったです。私のいた A クラスには、8ヶ国くらいの国の人がありました。色々な国の人と話すことができ、たくさんの文化や言葉を学ぶことができました。皆、英語がとても上手でした。私はあまり英語が得意ではないので、話すのが少し大変でした。留学には、英語が大切だということが分かりました。中国のご飯はとても安くて、量が多くて、おいしかったです。今回の研修で嬉しかったことは、自分の話した中国語が通じたときです。勉強した言葉が通じたのはとても嬉しくて、楽しかったです。ハルビン

	<p>の人々は、優しい人ばかりでした。また、ハルビンを訪れたいと思います。3週間、本当に充実した研修になりました。</p>
<p>謝 辞 ※本助成を受けたこと に対するKITげんき 会会員への謝辞</p>	<p>この度は、旅費の助成をしていただき、本当にありがとうございました。この3週間は、とても貴重な体験で、中国のことをたくさん学ぶことができました。この研修に参加して本当に良かったと思います。ありがとうございました。</p>

平成27年度 KITげんき会事業実施報告書

担当課名： 研究協力課

1 実施事業名

語学研修プログラム参加旅費の助成（中国）

2 事業概要

(1) 研修先

ハルビン工程大学

(2) 研修期間

2015年8月26日（水）～9月19日（土）

(3) 助成対象・金額

3万円

3 助成対象者報告

所属専攻・学年	情報電気エレクトロニクス系・1年
氏名	大場 実来
報告 ※本研修により得た成果について400字程度で記入	<p>この中国研修に参加する前、正直中国語には興味がありませんでした。しかしこの研修で多くの人とコミュニケーションをとり、一緒に勉強して中国語の面白さを知り、加えて英語の必要性を感じました。その大きなきっかけは、中国でできた友達です。みんな優しく面白く、休み時間が楽しみのひとつもありました。他にも友達の誕生日サプライズをしたり、みんなでご飯を食べに行ったり沢山の思い出ができました。みんなと仲良くするうちに英語がもっと話せれば、もっと色々な話ができるのにと感じました。短い時間と自分の英語力不足のために言いたいことが言えないで日本へと帰ることになってしまったのが心残りです。しかしこれをきっかけに他の言語が話せることの大事さを学びました。</p> <p>約三週間、時間は短かったけれど、普通に日本で過ごす三週間では得られないものが得られたと思います。積極的コミュニ</p>

	<p>ケーション、勉強をすること知識があることの大切さ、海外の面白さ、日本の良さ、他にも色々なことが得られました。この三週間自分の自信へもつながることもあったし、足りないものも見つけることができたのでよかったです。沢山の経験を活かし、もっと勉強してまたいつか中国に勉強しに行きたいです。</p>
<p>謝 辞 ※本助成を受けたこと に対するKITげんき 会会員への謝辞</p>	<p>この度の中国語語学研修がこれほど充実でき、有意義に過ごせましたのは、支援していただいたKITげんき会会員の皆様のご協力のおかげだと思っております。本当にありがとうございました。今後、さらに勉学に励んでいきます。</p>

平成27年度 K I Tげんき会事業実施報告書

担当課名： 研究協力課

1 実施事業名

語学研修プログラム参加旅費の助成（中国）

2 事業概要

(1) 研修先

ハルビン工程大学

(2) 研修期間

2015年8月26日（水）～9月19日（土）

(3) 助成対象・金額

3万円

3 助成対象者報告

所属専攻・学年	バイオ環境マテリアル系・1年
氏名	安田 翔
報告 ※本研修により得た成果について400字程度で記入	今回、私は中国の東北部にあるハルビン工程大学というところで約三週間中国語を学びました。この研修の前に自分で中国語を学んでいましたが、実際に行ってみると聞き取りの力が欠けていることを実感しました。三週間という短い期間でしたが、日本語の伝わらない環境の中で過ごすことで、中国語学習のモチベーションが高まり短期間でたくさんのことを吸収することができました。私は、今回の語学研修という機会があり、非常に良かったと思います。実際に行かないとその場の雰囲気や生活環境をこれほど味わうことができないからです。それと改めて日本の素晴らしさに気づくことができました。逆に日本には足りないものがあるのではないかとということも分かりました。この研修を終えて、自分が幼い頃、日本語をどのようにして覚えていったのかが何となく分かったような気がしました。また、英語の必要性なども身をもって気づかされました。

<p>謝 辞</p> <p>※本助成を受けたこと に対するKITげんき 会会員への謝辞</p>	<p>この度は語学研修の旅費を助成していただき、ありがとうございました。私はこの語学研修を単なる思い出の一部にはせず、これからも自ら中国語学習に励んでいこうと思います。そして、日本に来る中国人の留学生をサポートできるようになりたいです。将来的には日中友好関係にも関わっていきたいと思います。本当にありがとうございました。</p>
---	--

平成27年度 K I Tげんき会事業実施報告書

担当課名： 研究協力課

1 実施事業名

語学研修プログラム参加旅費の助成（中国）

2 事業概要

(1) 研修先

ハルビン工程大学

(2) 研修期間

2015年8月26日（水）～9月19日（土）

(3) 助成対象・金額

3万円

3 助成対象者報告

所属専攻・学年	社会環境工学科・4年
氏名	小森 葵
報告 ※本研修により得た成果について400字程度で記入	<p>今回語学研修に参加して、自分の視野がとても広がりました。中国の歴史や文化、日本との関わりなど、日本では教えてもらえないことや見る事ができないものがたくさんありました。日々、発見と勉強でした。3週間の中国語の授業では、中国語をたくさん聞くことができとても幸せでした。授業では他国の留学生と英語やお互いに覚えたての中国語、ジェスチャー等でコミュニケーションをとりました。言葉が通じず悲しい思いもしましたが、自分の思いを伝えるためにも語学は大切だと改めて感じました。もっと英語や中国語を勉強したいと思いました。</p> <p>また、中国の方はとても親切な方が多いです。外食する際に、私が日本人であり中国語を話せないとわかると、笑顔でゆっくり話してくれたり、英語を話せる人をわざわざ呼んでくれたりしました。中国に行って多くの人と出会い、多くの経験する</p>

	<p>ことができました。自分の目を見て、感じることはとても大切だと思った語学研修でした。</p>
<p>謝 辞 ※本助成を受けたこと に対するKITげんき 会会員への謝辞</p>	<p>今回の研修で学んだことはとても多く、参加することで自分の考え方の幅が広がりました。貴重な経験をすることができたのも、助成をしていただいたおかげです。ありがとうございました。研修で学んだことは、今後活かしていきたいと思えます。</p>

平成27年度 K I Tげんき会事業実施報告書

担当課名： 研究協力課

1 実施事業名

語学研修プログラム参加旅費の助成（ドイツ）

2 事業概要

(1) 研修先

フライブルク大学

(2) 研修期間

2015年8月7日（金）～8月30日（日）

(3) 助成対象・金額

5万円

3 助成対象者報告

所属専攻・学年	社会環境工学科・2年
氏名	松岡 優太郎
報告 ※本研修により得た成果について400字程度で記入	<p>私は今回の語学研修プログラムで様々な事を学びました。その中から2つのことを取り上げて報告します。</p> <p>1つ目はドイツのフライブルクの街並みです。中心街の道路は全て石畳で舗装されており、建物の壁や屋根などの色相が全て赤で統一されていて、その緻密な計画性の上に基づく街の調和性に感動しました。映画の中でしかこのような町は見たことが無かったので、ドイツで過ごしたこの3週間はまるで自分自身が映画の中にいるような感覚を味わえました。</p> <p>2つ目は英会話の難しさです。私は今回、相手に伝えたいこと英語で咄嗟に言うことが中々できませんでした。学校の授業で出てくるような長文は人並みに読めますが、会話となると少々厳しかったです。このことから、英語を使って会話をするには単に単語を覚えることや長文を読む練習をするだけでな</p>

	<p>く、英会話専用の練習が必要であると感じました。</p> <p>前者は都市計画という授業に生かし、後者は今後のグローバル社会への対策として生かしたいと思います。</p>
<p>謝 辞</p> <p>※本助成を受けたこと に対するKITげんき 会会員への謝辞</p>	<p>この度は今回の語学研修に資金援助をして頂き誠にありがとうございました。</p> <p>今回の経験を報告のところで述べたように次に生かしたい と思います。</p>

平成27年度 K I Tげんき会事業実施報告書

担当課名： 研究協力課

1 実施事業名

語学研修プログラム参加旅費の助成（ドイツ）

2 事業概要

(1) 研修先

フライブルク大学

(2) 研修期間

2015年8月7日（金）～8月30日（日）

(3) 助成対象・金額

5万円

3 助成対象者報告

所属専攻・学年	情報電気エレクトロニクス系・1年
氏名	平野 文菜
報告 ※本研修により得た成果について400字程度で記入	<p>語学研修が始まり数日間、楽しみにしていたはずの語学研修は、私の中で不安でいっぱいになっていました。空港では、入国審査で何を言われているのかさっぱりわからず、応対全てほかの研修メンバーに任せていましたし、学生寮では、話しかけてくれた他国の学生の英語が理解できずに、ほとんど口も開かないままそんざいに突き放してしまったりしました。初日は眠れず、次の日から始まったドイツ語の授業も、周りへの警戒心丸出しでした。思い返せば後悔ばかりです。</p> <p>そんな不安と恐怖を拭ってくれたのは、ドイツ語のクラスが同じ中国人の女性でした。授業で隣の席に座っていた彼女は、遅れての研修参加でどうしたらいいのか分からない私に、教科書やプリントを見せてくれて、先生がドイツ語で言ったことを簡単な英語に訳して必死で説明してくれました。はじめのうち</p>

	<p>は自分のことでいっぱいだった私も、彼女を見て、拙い英語でしたが伝える努力をするようになりました。すると、周りも見えてきて、誰もが突き放すようなことは一切せず一生懸命聞こうとしてくれて、私が首をかしげると身振り手振りで説明してくれるのです。そこで私は周りの異文化の人たちの優しさに気づくことができました。</p>
<p>謝 辞 ※本助成を受けたこと に対するKITげんき 会会員への謝辞</p>	<p>この度は、KIT げんき会会員の皆様に、このドイツ語学研修のための資金援助していただき、心から感謝しております。誠にありがとうございました。</p>

平成27年度 K I Tげんき会事業実施報告書

担当課名： 研究協力課

1 実施事業名

語学研修プログラム参加旅費の助成（ドイツ）

2 事業概要

(1) 研修先

フライブルク大学

(2) 研修期間

2015年8月7日（金）～8月30日（日）

(3) 助成対象・金額

5万円

3 助成対象者報告

所属専攻・学年	機械社会環境系・1年
氏名	野中 優希
報告 ※本研修により得た成果について400字程度で記入	語学研修を通して、日本と外国の違いをあらためて実感させられました。 まず、挨拶です。スーパーなどで会計をする時に「Hallo」と声をかけられました。同じように私も「Hallo」とかえします。そして帰る時も「Tschüs」とお互い挨拶を交わします。日本だと店員さんが「いらっしゃいませ」「ありがとうございました」の一方通行な感じがします。そう考えると、ドイツはお互いが挨拶していて短いやりとりですが、コミュニケーションがとれた気がして嬉しく思いました。また、電車などで向かい側に座っている時や歩いている時など話しかけられることもありました。自分の拙い英語でも会話が成り立つと嬉しく思うと同時に、もっと勉強していれば、と後悔もしました。ドイツは日本と比べて、なんとなくですがコミュニケーションが多い気

	<p>がしました。ですが、逆に日本の良さもあらためて発見できました。色々と考えさせられ良い経験となりました。</p>
<p>謝 辞 ※本助成を受けたこと に対するKITげんき 会会員への謝辞</p>	<p>この度はドイツ語学研修の資金援助をしていただき、ありがとうございました。この経験をこれからの学生生活、研究や就職に生かしていきたいと思えます。</p>

平成27年度 KITげんき会事業実施報告書

担当課名： 研究協力課

1 実施事業名

語学研修プログラム参加旅費の助成（ドイツ）

2 事業概要

(1) 研修先

フライブルク大学

(2) 研修期間

2015年8月7日（金）～8月30日（日）

(3) 助成対象・金額

5万円

3 助成対象者報告

所属専攻・学年	機械社会環境系・1年
氏名	松原 慎人
報告 ※本研修により得た成果について400字程度で記入	今回のドイツ留学は、いろいろな国に行けたのでよかったです。フランスのストラスブールやスイスのバーゼル。個人的にミュンヘンに行きました。ヨーロッパの地域は日本とは違い教会がたくさんありました。街並みも違って、石の家が多かったです。フライブルクの地面はレンガが多かったのでとても歩きにくかったです。特に驚いたことは、金曜日と土曜日の夜中はとても賑やかだったことです。ビールを片手に踊っている人が大勢いました。自分も参加させてもらったのですが、欧州のノリと日本のノリは全く違うのだなと感じました。これは、コミュニケーションの部分にも影響しています。初めて会う人に対しても積極的に話しかけてくれます。自分はとても助かりました。日本の文化にどんどん取り入れていくべきことだと感じました。留学した経験をこれからの大学生活に活かして行こうと強

	く感じました。
謝 辞 ※本助成を受けたこと に対するKITげんき 会会員への謝辞	助成していただいたおかげで貴重な体験ができました。ありがとうございました。

平成27年度 KITげんき会事業実施報告書

担当課名： 研究協力課

1 実施事業名

語学研修プログラム参加旅費の助成（ドイツ）

2 事業概要

(1) 研修先

フライブルク大学

(2) 研修期間

2015年8月7日（金）～8月30日（日）

(3) 助成対象・金額

5万円

3 助成対象者報告

所属専攻・学年	情報電気エレクトロニクス系・1年
氏名	桐生 雄大
報告 ※本研修により得た成果について400字程度で記入	<p>私は今回の語学研修で多くのことを学びました。もちろんドイツ語を学ぶことができましたし、英語も上達することができました。日本にはない外国の文化を学ぶこともできてよかったです。人々の考えやもちろん言語は違い、様々な文化が広がっている世界は私にとって新たなことばかりでとても感銘を受けました。しかし何よりも多くの人と出会えたことが私にとって今回の語学研修で得た最も大きな事だと思います。様々な国の様々な考えを持った人と交流するのはとても楽しく、忘れられない思い出となりました。帰国したいまとなっては会うのは困難ですがこの繋がりを大事にしていきたいと思います。</p> <p>また今回の語学研修で私の将来の夢に対する思いも変わりました。今後さらに外国の事を勉強して、世界中の人と多くの日</p>

	<p>本人が繋がれるような未来にしたいと思いました。具体的な仕事ややることはまだ定まってはいませんがとりあえずは今後もっと英語やドイツ語、その他の国々の言語についても勉強していきたいです。</p>
<p>謝 辞 ※本助成を受けたことに対する KITげんき会 会員への謝辞</p>	<p>今回はこのような貴重な経験をさせていただき本当にありがとうございます。今回の経験を生かして、多くの日本人に異文化の良さを伝えていけたらいいなと思っています。本当にありがとうございました</p>

平成27年度 KITげんき会事業実施報告書

担当課名： 研究協力課

1 実施事業名

語学研修プログラム参加旅費の助成（ドイツ）

2 事業概要

(1) 研修先

フライブルク大学

(2) 研修期間

2015年8月7日（金）～8月30日（日）

(3) 助成対象・金額

5万円

3 助成対象者報告

所属専攻・学年	機械社会環境系・1年
氏名	木村 美優
報告 ※本研修により得た成果について400字程度で記入	この三週間の語学研修はあっという間に過ぎていきました。私にとってこの語学研修が初めての海外で見るもの触れるものすべてが新鮮で目を奪われてばかりでした。大学でドイツ語を学ぶと同時にドイツをはじめその周辺の地域にも訪れることもできるのが私にはいいと思いました。私が一番好きなところは、シュバルツバルトに囲まれた伝統的な村です。ハムやベーコンになる家畜を飼いそれを自分で加工したり、ワインやビールなどのお酒も自分で作ったりするというほぼ自給自足の生活を学びました。すべてを自分でするので、動物の命をいただいているということも直に感じることができ、私が普通に生活していたら忘れていたことが多くありました。また様々な地域を訪れて、日本がいかにきれいであるかを知り、道にごみがないことがどんなにすごいことなのかわかりました。今回は海外

	<p>の色々なことを知ると同時に日本を見つめ直すことができる いい経験になりました。</p>
<p>謝 辞 ※本助成を受けたこと に対するKITげんき 会会員への謝辞</p>	<p>今回の語学研修では大学での講義はもちろん、ドイツの様々な 地域をめぐりその土地のものを食べ、文化を学ぶことができました。 きっとこれは自分だけでは可能にすることができなかつ たと思いますし、この助成があったからこそ思い切り楽しむこ とができたと思います。ほんとうにありがとうございました。</p>

平成27年度 KITげんき会事業実施報告書

担当課名： 研究協力課

1 実施事業名

語学研修プログラム参加旅費の助成（ドイツ）

2 事業概要

(1) 研修先

フライブルク大学

(2) 研修期間

2015年8月7日（金）～8月30日（日）

(3) 助成対象・金額

5万円

3 助成対象者報告

所属専攻・学年	機械社会環境系・1年
氏名	岡本 卓也
報告 ※本研修により得た成果について400字程度で記入	<p>今回のドイツ語学研修で、自分の英語とドイツ語のコミュニケーション能力がかなり低いということが身に染みて実感しました。そしてフライブルクでドイツ語を教わり、五感を使って覚えて、実践で話すのが語学習得に欠かせないものなのだと分かりました。</p> <p>様々な国の人と関わることができたおかげで、日本の固まった考えを改めて見直し、日本だけを見ずに世界を見ることが大切だと感じました。同時に世界の人に日本を見てもらうことも大切だと思いました。出会った人に折り紙を折ってプレゼントすると、ものすごく興味を示して喜んでいました。中には折れる人もいて、日本に興味があるのだと嬉しく思いました。</p> <p>今回の語学研修では一期一会が沢山ありました。今まではあまり気にしていませんでしたが、今回の語学研修で一期一会は大</p>

	<p>切にするべきだと学びました。あった人に喜んでもらうのがとても嬉しかったです。</p> <p>この経験を今後の自分の人生で宝物とし、活かしていこうとおもいます。</p>
<p>謝 辞</p> <p>※本助成を受けたこと に対するKITげんき 会会員への謝辞</p>	<p>この度はドイツ語学研修のための資金を援助してくださり、誠にありがとうございました。</p>

平成27年度 K I Tげんき会事業実施報告書

担当課名： 研究協力課

1 実施事業名

短期交流研修（派遣）の助成（大韓民国）

2 事業概要

(1) 研修先

慶尚大学校工科大学

(2) 研修期間

2015年9月1日（火）～9月8日（火）

(3) 助成対象・金額

5万円

3 助成対象者報告

所属専攻・学年	機械社会環境系・1年
氏名	太田 聡
報告 ※本研修により得た成果について400字程度で記入	今回の研修では、楽しかったこともあった一方で苦勞したことも多々ありました。その中でも一番大変だったことは、やはり言葉が通じず、字も読めないということでした。普段、日本で生活しては実感することのできなかつた言葉の壁というものを今回の研修で身をもって感じることができました。このような体験ができたことはこれからの英語学習などのモチベーションにもつなげていけると思っています。また、韓国の文化を教えてもらい、生活してみることで日本と韓国との違いに気づかされる場面が何度もありました。今ではインターネットで多くのことを知ることができますが、実際に日本から離れてみて得たものの方が遥かに印象に残り今後役に立つのではないかと今回の研修を終えて感じました。

<p>謝 辞</p> <p>※本助成を受けたこと に対するKITげんき 会会員への謝辞</p>	<p>今回の研修が僕にとって初の海外となりました。このような貴重な体験ができたのも KIT げんき会の皆様に支えていただいたおかげだと思っております。本当にありがとうございました。</p>
---	--

平成27年度 KITげんき会事業実施報告書

担当課名： 研究協力課

1 実施事業名

短期交流研修（派遣）の助成（大韓民国）

2 事業概要

(1) 研修先

慶尚大学校工科大学

(2) 研修期間

2015年9月1日（火）～9月8日（火）

(3) 助成対象・金額

5万円

3 助成対象者報告

所属専攻・学年	マテリアル工学科・4年
氏名	矢ノ目 和樹
報告 ※本研修により得た成果について400字程度で記入	<p>本研修により私が得た成果は2つある。</p> <p>(1)異国での文化の違いを知る 韓国の歴史、基本的なマナー、また母国語であるハングルについて学び、日本のものと比べることで、国ごとの文化的な違いを発見できた。また、学習したマナーや言語に関しては本研修中でも即座に生かすことができた。</p> <p>(2)英語でのコミュニケーション 私はグローバルに活躍する人材になることが夢でありつつも、これまで英語を話す機会がなく悩んでいた。しかし、本研修中に英語を話す機会が幾度かあった。不安と緊張はあったが、この機会を逃したくないと思い会話することを決心した。そこで初めて英語を話し、通じた。通じることを体験したこと</p>

	<p>で、喜びと自信が生まれた。</p> <p>これらの成果は必ず自分に役立つものとなると思うし、今後またこのような国際的な交流の機会があれば積極的に参加し、交流の輪を世界へ広げていきたい。本研修で得たことを生かしつつ、努力を重ね、自分の夢を達成したい。</p>
<p>謝 辞</p> <p>※本助成を受けたこと に対するKITげんき 会会員への謝辞</p>	<p>本短期交流研修において助成いただいた KIT げんき会会員の皆様に対し深くお礼申し上げます。この研修により数多くの貴重な経験をする事ができました。この経験を今後に生かせるよう努めたいと思います。</p>

平成27年度 K I Tげんき会事業実施報告書

担当課名： 研究協力課

1 実施事業名

短期交流研修（派遣）の助成（大韓民国）

2 事業概要

(1) 研修先

慶尚大学校工科大学

(2) 研修期間

2015年9月1日（火）～9月8日（火）

(3) 助成対象・金額

5万円

3 助成対象者報告

所属専攻・学年	機械工学専攻・1年
氏名	山内 浩靖
報告 ※本研修により得た成果について400字程度で記入	<p>一週間という短い期間での慶尚大学校との交流でしたが、一週間と思えないほど多くの貴重な経験をさせていただきました。今回の短期交流研修は私にとって初めての海外であり、時折テレビやインターネットなどで日韓問題のニュースを目にしたり、不安な思いでいっぱいでした。しかし、私の不安とは裏腹に慶尚大学の職員の方々や学生の方々は我々を快く受け入れてくれ、初めての海外の不安や日韓問題を微塵も感じさせないとても居心地のよい交流研修となりました。</p> <p>言葉を交わすことで政治的な問題を忘れ日本人と韓国人ではなく、「人與人」として楽しい時間を共有できると実感できました。また、研修の期間には、韓国の歴史や文化を学ぶ機会が多々ありました。日本の歴史や文化にもリンクしている部分も多く、韓国の歴史や文化を知るに伴い日本の歴史、文化をよ</p>

	り深めることができました。
<p>謝 辞</p> <p>※本助成を受けたこと に対するKITげんき 会会員への謝辞</p>	<p>今回の韓国短期交流研修にあたり助成金を支援していただき KIT げんき会様には感謝申し上げます。本当にありがとうございました。 いました。</p>

平成27年度 KITげんき会事業実施報告書

担当課名： 研究協力課

1 実施事業名

短期交流研修（派遣）の助成（大韓民国）

2 事業概要

(1) 研修先

慶尚大学校工科大学

(2) 研修期間

2015年9月1日（火）～9月8日（火）

(3) 助成対象・金額

5万円

3 助成対象者報告

所属専攻・学年	バイオ環境化学専攻・1年
氏名	荒川 知子
報告 ※本研修により得た成果について400字程度で記入	8日間の研修で多くの思い出を作ることができ、さらに多くの貴重な体験をすることができました。世界遺産や多くの観光地を訪問しました。そこで、韓国と日本が戦争していた時の話を、韓国側の見解で聞くことができました。日本では、やはり日本側の見解で、日本こそ正義、という話しか聞くことができませんが、韓国側から、違う側面で話を聞くことができました。非常に貴重な話を聞けたと思います。それだけでなく、日本には出会えない人々との出会いもありました。新たに友達を作ることができました。現地の学生で通訳として研修中ずっとガイドしてくれました。彼女とは日本に帰ってから交流があり、また、彼女も日本に非常に興味があるため、冬に北見に遊びに来てくれるとのことで、本当に素晴らしい出会いだったと思います。

<p>謝 辞</p> <p>※本助成を受けたこと に対するKITげんき 会会員への謝辞</p>	<p>今回の韓国への研修で様々な貴重な体験をすることができました。この研修に参加できたのも、KITげんき会さんからの助成があったからです。本当にありがとうございました。</p>
---	--

平成27年度 KITげんき会事業実施報告書

担当課名： 研究協力課

1 実施事業名

短期交流研修（派遣）の助成（大韓民国）

2 事業概要

(1) 研修先

慶尚大学校工科大学

(2) 研修期間

2015年9月1日（火）～9月8日（火）

(3) 助成対象・金額

5万円

3 助成対象者報告

所属専攻・学年	社会環境工学科・3年
氏名	広瀬 直樹
報告 ※本研修により得た成果について400字程度で記入	<p>本研修を通して得たことは慶尚大学の方たちとの繋がり、韓国の文化や歴史、日本との違いなどを学ぶことができました。</p> <p>初めて韓国に訪れたので緊張していましたが大学のみなさんがフレンドリーに接してくれて、わからない韓国語なども通訳してくれたので困ることはなく一週間を過ごすことができました。</p> <p>食べ物は韓国なので辛い物が多かったのですが、全て美味しかったです。特に日本ではもう食べる事が出来ないユッケビビンパを食べる事が出来ていい経験になりました。日本とは食の文化が違うので茶碗を持って食べることや、米はスプーンで食べなければならなく、慣れるまで大変でしたがこれも韓国を知るいい機会になりました。</p> <p>韓国の昔のお墓や昔の皇帝が散歩した道、仏教についても学</p>

	<p>ぶことが出来ました。観光スポットを紹介してくれる人がほとんど日本語を話すことができたので、理解がしやすかったのでたくさん学ぶことが出来ました。</p>
<p>謝 辞 ※本助成を受けたこと に対するKITげんき 会会員への謝辞</p>	<p>今回の韓国留学のために助成金を出していただいて本当にありがとうございます。</p> <p>留学をすることによって自分の視野を広げるいい経験になりました。今回学んだことを活かして来年の就活やこれからの人生に役立てたいと思います。</p>

平成27年度 KITげんき会事業実施報告書

担当課名： 研究協力課

1 実施事業名

短期交流研修（派遣）の助成（大韓民国）

2 事業概要

(1) 研修先

慶尚大学校工科大学

(2) 研修期間

2015年9月1日（火）～9月8日（火）

(3) 助成対象・金額

5万円

3 助成対象者報告

所属専攻・学年	社会環境工学科・2年
氏名	秦 芳暉
報告 ※本研修により 得た成果について 400字程度 で記入	このプログラムに参加することで普段の生活では関わることのない人と関わることができました。 韓国の学生はもちろんのことですが、今回のプログラムと一緒に参加した北見工大の学科も学年も違う人と知り合い仲良くなることもできました。 韓国でのバスを使っている時に外の景色を見ていると、右側通行ではありましたが日本の道路にとっても似ていました。信号や横断歩道の作りはととても似ていました。なので、街を歩くときに変に意識しなくてよかったです。このプログラムではお寺や城などを見学させてもらいました。お寺を回ったときにガイドさんの説明がありお寺の意味も知ることができよかったです。佛国寺の建てられている3つの寺院の意味が過去、現在、未来と意味があるらしく現在が礼拝するものにと

	<p>って大事なので、1番大きくなっているらしく面白いなと感じました。日本の大きなお寺にも行き、寺院にどんな意味があるのか知りたいと思いました。</p>
<p>謝 辞 ※本助成を受けたことに対するKITげんき会会員への謝辞</p>	<p>今回の研修に参加することができたのもKITげんき会会員の皆様の助成金のおかげです。費用がほとんどかからないことが、貯金を気にしなくてよく、研修に参加するとすぐに決断できました。</p> <p>初の韓国を有意義にできました。今回の研修に参加する力を貸していただきありがとうございます。</p>

平成27年度 K I Tげんき会事業実施報告書

担当課名： 研究協力課

1 実施事業名

短期交流研修（派遣）の助成（大韓民国）

2 事業概要

(1) 研修先

慶尚大学校工科大学

(2) 研修期間

2015年9月1日（火）～9月8日（火）

(3) 助成対象・金額

5万円

3 助成対象者報告

所属専攻・学年	機械工学科・3年
氏名	佐山 将太郎
報告 ※本研修により得た成果について400字程度で記入	今回の韓国の研修では、今まで、テレビなどでしか見てこなかった韓国を実際に、自分の目で、見ることができ、多くのことを学びました。慶尚大学でのハングル文字を勉強する授業では、わかりやすくハングル文字の読み方を教えていただいたので、少しだけ構造と読み方がわかるようになりました。慶尚大学の学生とは、最初、英語で話すと思っていた、できても簡単な会話くらいだろうと予想していましたが、日本語を話すことができたので、韓国について聞きたいことを、いろいろ聞くことができました。ただの観光に行くだけでは、わからないこともいろいろ知ることができ、有意義な研修だったと感じています。

<p>謝 辞</p> <p>※本助成を受けたこと に対するKITげんき 会会員への謝辞</p>	<p>海外に行きたいと思っ ていても、お金のハ ードルが高く、なか なかな行こうと決心 できないときに、助 成金を出していただ けたので、思い切っ て行くことができました。 韓国にいた1週間で さまざまことを学 ぶことができました。 どうもありがとうございました。</p>
---	--

平成27年度 K I Tげんき会事業実施報告書

担当課名： 研究協力課

1 実施事業名

短期交流研修（派遣）の助成（大韓民国）

2 事業概要

(1) 研修先

慶尚大学校工科大学

(2) 研修期間

2015年9月1日（火）～9月8日（火）

(3) 助成対象・金額

5万円

3 助成対象者報告

所属専攻・学年	機械工学科・3年
氏名	荒木 謙吾
報告 ※本研修により得た成果について400字程度で記入	<p>今回の研修で得た成果で最も大きかったものは、韓国語に興味をもったことです。</p> <p>私は、今まで語学に興味を持ったことがありませんでした。英語は、受験や資格、外国の人とコミュニケーションをとるために必要という理由で勉強していただけであって、英語という物自体が面白いと思ったことはありません。</p> <p>しかし、今回の韓国研修で韓国語を学び、はじめて語学の面白さに気づくことができました。特に、極めて簡単な記号から構成され、あらゆる音を表現することが可能なハングルには感動しました。しかも、初めて勉強したのにもかかわらず、読み書きができるようになるのに一日も要しませんでした。このような文字を創るよう命じた世宗大王は、本当に偉大だと思いました。交流研修が終わってからはこのハングルの組み合わせるこ</p>

	<p>とによって、どんな単語、文章が出来上がるのかを知りたくなって、勉強を始めました。そしてその結果として、私の好きな韓国の歴史ドラマ、歴史の文献を読むことが可能になると思うと今から楽しみでなりません。</p> <p>今回の研修は八日間なので、何かを習得するというよりも、何かを習得するためのきっかけをつかもうと思い、研修に臨みました。結果私はその目的を達成することができました。この研修に参加していなかったら、韓国語に興味を持つこともなかったと思います。</p> <p>この韓国研修は私にとって最高のものとなったと思います。</p>
<p>謝 辞</p> <p>※本助成を受けたこと に対するKITげんき 会会員への謝辞</p>	<p>短期交流研修に対して助成をしてくださり、ありがとうございました。</p> <p>KIT げんき会会員様の助成金があったからこそ、念願の海外渡航を叶えることができました。</p> <p>本研修で学んだことを生かしつつ、これからも勉学に励んでいきます。</p>

平成27年度 KITげんき会事業実施報告書

担当課名： 総務課総務担当

1 実施事業名

地域貢献活動、ボランティア活動等を行った学生表彰の助成

2 事業の概要

地域貢献活動等に積極的に参加した本学に在学する学生及び本学学生が組織する団体を表彰することで、学生生活の充実と地域の一層の活性化を図ることを目的とする。

3 謝辞

学生表彰へのご支援を賜りまして誠にありがとうございます。

今年度は、本学を会場として開催されました障がいのある方の1日学生体験イベント「オープンカレッジ in 北見」でボランティアスタッフとして活躍した学生10人をKITげんき会総会で表彰いたします。

受賞者は以下のとおりです。

バイオ環境化学専攻	M1	吉田	一生
機械工学科	4年	関谷	優介
社会環境工学科	4年	辻	瑛一
電気電子工学科	4年	三浦	祐介
マテリアル工学科	4年	渡辺	紘平
社会環境工学科	3年	安部	圭祐
社会環境工学科	3年	山岸	昂平
電気電子工学科	3年	栗山	菜摘
マテリアル工学科	3年	山口	航平
社会環境工学科	2年	大嶋	康弥

1 実施事業名

留学生派遣の助成

2 事業の概要

本学と地域との国際交流の推進を図るため、外国人留学生を地域の各種団体等へ派遣し、派遣先で行われている行事に参加させる。

3 参加者の様子

特別聴講学生向け講義「日本事情」において、北見市立南小学校に外国人留学生を派遣し、学校間国際交流を行いました。

交流は昨年12月から今年の1月にかけて全2回を行いました。

1回目は12月21日（月）に4カ国16名の留学生が訪問しました。小学5～6年生の全6クラスと、お昼から約2時間を一緒に過ごしました。給食を一緒に楽しみ、牛乳パックの後片付けシステムも体験しました。5時間目は各教科の授業を一緒に受け、自分たちの教室を自分たちで掃除をする姿に驚いている留学生が多く見受けられました。

2回目は1月25日（月）に訪問し、一緒に給食を食べた後、各留学生が15分ずつの持ち時間で自国の文化を紹介しました。小学生に十分理解してもらえるよう試行錯誤を繰り返し、言葉遣いや発音にも留意しながら準備を進めた発表を、児童の皆さんが熱心に聞いてくれたことは留学生にとって大きな喜びと達成感になりました。各留学生が行った発表内容は以下のとおりとなります。

「食事マナーの違い」カン・ホンギョ（韓国）

「台湾で今でも使われている日本語」ライ・ジュンイー（台湾）

「中国と日本では意味の違う漢字」ドン・アルイ（中国）

「ポーランドの概要とクラクフ市の紹介」パベウ・レムパ（ポーランド）

「台湾の早口言葉」ホワン・シェンジュン（台湾）

「西遊記について」ドゥー・シャンユー（中国）

- 「韓国と日本の“チキン料理”の違い」 ジョン・キフン（韓国）
- 「韓国のお正月とキムチ」 ジン・セビン（韓国）
- 「中国と日本では意味が異なる漢字」 ライ・ガンロン（中国）
- 「中国で子どもが大好きな遊び」 ピャオ・アイレン（中国）
- 「数字の数え方に関するジェスチャーの違い」 ジャオ・シュアイ（中国）
- 「中国の伝統ひも結び」 ウー・ウェイ（中国）
- 「韓国と日本の違いで気になること5点」 ナー・ヨンシク（韓国）
- 「韓国の代表的な食べ物」 キム・ジフン（韓国）
- 「台湾の“お金の神様”を折り紙で作ろう！」 ヤン・ルーシェン(台湾)
- 「中国のお金に描いてある人物と景色」 ワン・アンディ（中国）



4 謝辞

留学生派遣の実施にあたり、ご支援いただき、誠にありがとうございました。

皆様からのご支援により留学生に日本の給食体験をさせていただくことができました。また、数回に渡って地域の方と交流ができたことで、留学生は児童や職員の皆様と顔見知りになり、お互いに理解し合おうとする雰囲気生まれ、素晴らしい国際交流の場をつくる事ができました。賛助いただいたKIT げんき会の皆様に、国際交流センター一同、心より感謝を申し上げます。

今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

1 実施事業名

インターナショナルCアワー開催の助成

2 事業の概要

留学生が本学の学生・教職員のみならず市民との交流の場を持つことにより、国際交流の促進を図る。

毎回異なったプログラムを通して、留学生が日本の伝統芸能や四季折々の祝い事やしきたりに触れ、日本文化への理解を深めること、また、日本人参加者が異文化について学ぶことも目的としている。

3 開催報告

2015年	4月22日	留学生歓迎会
2015年	5月29日	留学生のお国紹介
2015年	7月9日	ペタクタ作り
2015年	8月6日	流しそうめん
2015年	10月29日	留学生歓迎会&ハロウィン
2015年	11月24日	フィンランド・タンペレ留学体験談
2016年	1月14日	餅つき
2016年	2月10日	インターナショナルコンサート

4 謝辞

インターナショナルCアワーを開催するにあたり、ご支援いただき、誠にありがとうございました。お陰をもちまして、全8回の開催を盛況のうちに無事終了することができました。

これも皆様のご支援あってのことと国際交流センター関係者一同、感謝いたしております。皆様からのご支援により、手作りのお菓子を含めた茶菓と飲み物を用意させていただきました。そのおかげで、温もり感のある場を提供できただけでなく、留学生と市民、一般学生を含めた交流を促進し、異文化理解を深めることができたと思っております。

今後ともご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

1 実施事業名

留学生交流イベントの助成

2 事業の概要

外国人留学生と地域の各種団体等との国際交流の推進を図るため、留学生並びに教職員、北見市民等との交流会（卒業パーティー）を行う。

3 参加者の様子

平成27年12月15日（火）、本学コミュニケーションアトリウムにおいて、毎年恒例となっている留学生交流イベント（留学生交流の夕べ）を開催しました。

日ごろから本学の国際交流にご協力いただいている方々をお招きし、学内外から150人を超える方々にご参加いただき、交流を深めました。

高橋学長からの挨拶に続いて、卒業生の代表として、中国人留学生の呉 东元（ゴ トウゲン）さんから、留学生活での楽しかった思い出や、お世話になった方々への感謝の言葉などのスピーチがありました。



交流会では、卒業・修了する留学生のスライドの上映が行われました。各自が作成したスライドに合わせて、入学した頃に比べてはるかに流暢になった日本語で、北見での思い出を語ってくれました。

更にアトラクションでは、中国やポーランド、パナマの留学生達が各国の母国語による歌を披露し、韓国人留学生は歌と併せてダンスを踊り、最後にマレーシア人留学生によるバンド演奏などが行われ、会場を大いに盛り上げてくれました。

また、今年の中川様を初め、茶道裏千家淡交会北見支部の皆様にお茶席をご提供いただきました。



夕べに参加した留学生は、いつもお世話になっている方々との思い出話や記念撮影に花を咲かせ、和やかな雰囲気の中で閉会となりました。



4 謝辞

留学生交流イベント（留学生交流の夕べ）を開催するにあたり、ご支援いただき、誠にありがとうございました。このように盛大な交流会ができたのも、ひとえに皆様のおかげと国際交流センター関係者一同、心より感謝申し上げます。

皆様からのご支援により、手作りのお菓子を含めた茶菓と飲み物、そして食事を用意させていただきました。また、各関係者への案内状や、当日配付しました冊子と集合写真の作成にも役立てさせていただきました。おかげさまをもちまして、参加者全員にとって心に残る交流会を提供できたと思っております。

今後ともご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

平成27年度 KITげんき会事業実施報告書

担当課名： 情報図書課

1 実施事業名

図書館配架用学生向け参考図書購入の助成

2 事業の概要

図書館に配架している参考図書で新版が出版されたものや、利用が見込まれる新規の参考図書を情報図書課内で選定し、購入した。

3 購入図書一覧

別紙のとおり

4 謝辞

皆様からのご厚志により、比較的高価な参考図書を購入することができました。これらの資料を本学図書館に配架することは、本学の教育や学生の学習支援に役立つものと考えております。この場をお借りし感謝申し上げます。

北見工業大学では、地域住民の方にも図書館をご利用いただけるよう、施設の開放や専門書以外の資料の充実も行っております。今後もより一層開かれた大学作りを目指し、地域と一体になれるよう邁進していきますので、応援のほどよろしくお願いいたします。

購入図書一覧（平成 27 年度 KIT げんき会）

書 名	金額(税込)
化学便覧 応用化学編 (第 7 版)	62,424
低温科学便覧	9,936
必携英和工学术語辞典	4,173
設計者のための免震・制震構造ハンドブック	7,352
騒音用語事典	4,471
プログレッシブ中国語辞典 (第 2 版)	3,775
クラウン仏和辞典 (第 7 版)	3,974
建築基準法令集 (2016 年)	1,589
ハンディブック 機械 (改訂 2 版)	3,775
合 計	101,469

(1,469 円については図書館経費で支出)

1 実施事業名

女満別空港広告看板掲出料の助成

2 事業の概要

女満別空港2階出発ロビーへ広告看板の掲出

3 広告掲出状況

搭乗手続き待ちや見送り等の空港利用者に向けた広報を目的として、平成17年4月から継続して掲出しています。平成25年3月に一新したデザインは、本学ロゴマークの周知とポップで親しみやすいもので、幾分堅い工学のイメージを払拭できればとの願いを込めています。



4 謝辞

本事業に関し、平成17年度から継続してご支援いただき心から感謝申し上げます。今後も地域に輝き、地域に貢献する大学として邁進していく所存ですので引き続きご支援賜りますようよろしくお願い申し上げます。

1 実施事業名

ぼんちまつり参加者への助成

2 事業の概要

北見市の夏祭りイベント「北見ぼんちまつり舞踊パレード」に参加し、本学の存在をアピールするとともに、学生主体によるチームを編成し地域へ貢献する。

3 参加者の様子

(写真を交えて1ページ程度で作成)



先頭を歩く団体長と学生たち

4 謝辞

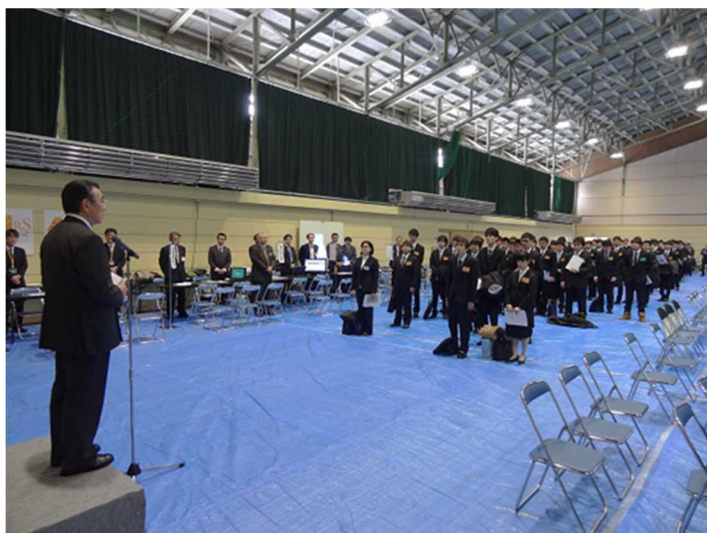
本事業にご支援をいただき心から感謝申し上げます。

これからも地域との交流事業に積極的に参加し、学生の元気で地域を盛り上げていきたいと思っておりますので、今後ともご支援賜りますようお願い申し上げます。

平成27年度 KITげんき会事業実施報告書

担当課名： 学務課

- 1 実施事業名
就職支援助成（地元合同企業説明会）
- 2 事業の概要
人材確保が課題となっている北見地域の企業と、本学学生や地元専門学校生の出逢いの場を提供・人材を確保するとともに、地域経済の活性化を目指す。
- 3 参加者の様子
2016年 3月1日（火） 本学第一体育館にて開催



本学、オホーツク商工会議所協議会、北見市大卒者情報センター、そしてKITげんき会との共催で開催しました。各企業・団体が体育館に一同に机を並べ、参加学生が興味のある企業へ立ち寄るブース形式での実施となり、参加企業数も北見市を含む近隣5市町の約50社、来春卒業予定の本学学生や専門学校生ら参加者は約70名となりました。

4 謝辞

地元企業合同説明会を開催するにあたり、ご支援いただき、心から感謝申し上げます。皆様からのご支援により、学生と地元企業との出逢いの場を提供することができ、今後の北見地域の人材創出に繋げていければと思っております。

今後とも、ご支援のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

北見工業大学後援会「KITげんき会」

平成27年度決算書

収入の部

項 目	予 算	決 算	備 考
会 費	2,200,000	2,189,000 円	個人会員(43件) 219,000 円 法人会員(110件) 1,970,000
寄 附 金 等	1,000,000	1,241,000 円	同窓会会員からの寄附(160件) 1,241,000
雑 収 入	500	499 円 (内訳) 467 32	預金利息 寄附金取りまとめ用口座の解約に伴う残金受入
前年度からの繰越	2,907,258	2,907,258 円	
合 計	6,107,758	6,337,757 円	

支出の部


項 目	予 算	決 算	備 考
後援会運営費	320,000	224,070 円	円
通 信 費	(内訳) 200,000	(内訳) 121,676	印刷物郵送料、返信用葉書
事 務 費	20,000	5,194	事務諸雑費、振込手数料
印 刷 費	100,000	97,200	リーフレット印刷費
大学援助費	3,358,200	2,382,236 円	
学生に対する支援	(内訳) 2,080,000	(内訳) 1,588,436	語学研修プログラム参加旅費の助成 670,000 30,000円×4人=120,000円(中国) 50,000円×7人=350,000円(ドイツ) 50,000円×4人=200,000円(オーストラリア) 短期交流研修(派遣)の助成 50,000円×8人=400,000円(韓国) 400,000 地域貢献活動、ボランティアを行った学生表彰の助成 100,000 留学生派遣の助成 8,500 インターナショナルCアワー開催に伴う助成 90,872 留学生交流イベントの開催に対する助成 219,064 図書館配架用学生向け参考図書購入の助成 100,000 大学広報等への支援 1,100,000 北見ぼんちまつり参加への支援 178,200 女満別空港広告看板掲出料の助成 615,600 北見ぼんちまつり参加への助成 178,200
予 備 費	2,429,558	250,000 円	就職支援助成(地元合同企業説明会等) 250,000
支 出 計		2,856,306	
次年度繰越金		3,481,451 円	
合 計	6,107,758	6,337,757 円	

監 査 報 告 書

本会規約第6条第5項に基づき、平成27年度北見工業大学後援会収支簿及び預金通帳類に関する監査を行った結果、適正に処理されていると認めましたので報告いたします。

平成28年6月20日

監 事 小 澤 寛 之 郎 

監 事 高 田 剛 夫 

北見工業大学後援会「KITげんき会」

平成28年度事業計画書（案）

事業	摘要
1 会議	
1) 総会	年1回開催
2 支援事業	
1) 学生に対する支援	語学研修プログラム参加旅費の助成 留学生派遣の助成 インターナショナルCアワーの助成 留学生交流イベントの助成 地域貢献活動、ボランティア活動等を行った学生表彰の助成 就職支援助成（地元合同企業説明会） 図書館配架用学生向け参考図書購入の助成
2) 大学広報等への支援	女満別空港広告看板掲出料の助成 屈斜路研修所優待利用の助成
3) 北見ぼんちまつり参加への支援	ぼんちまつり参加者への助成

北見工業大学後援会「KITげんき会」
平成28年度予算書(案)

収入の部

項 目	予 算	備 考
会 費	2,200,000 円	個人会員(100口 × 3,000円) 300,000 円
		法人会員(190口 × 10,000円) 1,900,000
寄 附 金 等	1,000,000 円	同窓会会員からの寄附 1,000,000
雑 収 入	500 円	預金利息等 500
前年度からの繰越	3,481,451 円	
合 計	6,681,951 円	

支出の部

項 目	予 算	備 考
後援会運営費	320,000 円	円
通 信 費	(内訳) 200,000	印刷物郵送料、返信用葉書 200,000
事 務 費	20,000	事務諸雑費、振込手数料 20,000
印 刷 費	100,000	払込取扱票印刷 ほか 100,000
大 学 援 助 費	3,078,000 円	
学生に対する支援	(内訳) 750,000	語学研修プログラム参加旅費の助成 750,000 50,000円×5人=250,000円(オーストラリア) 30,000円×5人=150,000円(中国) 50,000円×7人=350,000円(ドイツ)
	100,000	留学生派遣の助成 100,000
	120,000	インターナショナルCアワーの助成 120,000
	220,000	留学生交流イベントの助成 220,000
	300,000	地域貢献活動、ボランティア活動等を行った学生表彰の助成 300,000
	300,000	就職支援助成(地元合同企業説明会) 300,000
	100,000	図書館配架用学生向け参考図書購入の助成 100,000
大学広報等への支援	1,008,000	女満別空港広告看板掲出料の助成 908,000 屈斜路研修所優待利用の助成 100,000
北見ぼんちまつり 参加への支援	180,000	ぼんちまつり参加者への助成 180,000
予 備 費	3,283,951 円	
合 計	6,681,951 円	

北見工業大学後援会「KITげんき会」規約

(名 称)

第1条 本会は、北見工業大学後援会「KITげんき会」と称する。

(目 的)

第2条 本会は、地域と同窓会が一体となって、北見工業大学の発展及び学生の生活向上のための援助等に協力することを目的とする。

(事 業)

第3条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- 一 北見工業大学の発展のための援助
- 二 北見工業大学の学生の生活向上等のための援助
- 三 会費、寄付金品の受理及び処理
- 四 その他必要な事項

(組 織)

第4条 本会は、次に掲げる会員をもって組織する。

- 一 個人会員
- 二 法人会員

(役 員)

第5条 本会に次の役員を置く。

- 一 会 長 1人
- 二 副 会 長 若干人
- 三 常務理事 1人
- 四 理 事 若干人
- 五 監 事 2人

2 役員は、総会において選任し、又は解任する。

(職 務)

第6条 会長は、本会を代表し、会務を統括するとともに会議を招集して、その議長となる。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代行する。
- 3 常務理事は、会計及び本会の運営上重要な事項を処理する。
- 4 理事は、本会の運営上必要な事項を審議する。
- 5 監事は、本会の会計を監査する。

(任 期)

第7条 役員任期は2年とする。但し、再任を妨げない。

2 役員に欠員が生じた場合は、必要に応じて補充する。但し、補充された役員任期は、前任者の残任期間とする。

(総会及び役員会)

第8条 総会及び役員会は、年1回開催しなければならない。

但し、必要に応じて会長が臨時に召集することができる。

- 2 総会に次の事項を付議する。
 - 一 役員を選任、解任

- 二 事業計画及び事業報告
- 三 予算及び決算
- 四 規約の制定及び改廃
- 五 その他本会の運営に必要な事項

- 3 役員会は、会長、副会長、常務理事、理事をもって構成する。
- 4 役員会は、本会の事業運営及び総会に付議すべき事項を審議するものとする。
- 5 総会及び役員会の議長は、会長がその任にあたる。
- 6 総会及び役員会の議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

(顧問)

第9条 本会に顧問を置くことができる。

- 2 顧問は、役員会の議を経て、会長が委嘱する。

(事務局)

第10条 本会の事務を処理するため、事務局を北見市公園町165番地北見工業大学内に置く。

- 2 事務局には、次の職員を置く。

- 一 事務局長
- 二 事務局員

- 3 事務局長は、常務理事の職務を補佐することとし、会長が北見工業大学の教職員の中から委嘱する。

- 4 事務局員は、会長が委嘱する。

(会計)

第11条 本会の目的の達成及び運営に資する資金は、会員の会費、寄付金等をもって充てる。

- 2 会員の会費は、次に掲げるとおりとし、毎年、定められた時期に納入する。

- 一 個人会員 一口 3,000円
- 二 法人会員 一口 10,000円

- 3 本会の会計は、後援会運営費と大学援助費に区分して経理する。

- 4 後援会運営費は、後援会運営上必要な経費をいう。

- 5 大学援助費は、学術振興、国際交流、学生の生活向上等に必要な経費をいう。

(会計年度)

第12条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(雑則)

第13条 この規約に定めるもののほか、本会に関し必要な事項は、役員会が別に定める。

附 則

- 1. この規約は、平成17年11月30日から施行する。
- 2. 初年度の会計年度は設立総会日より平成18年3月31日までとする。
- 3. 初年度の役員任期は設立総会日(平成17年11月30日)より平成20年3月31日までとする。